

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画を作るにあたり、チームの意見を話し合っ て作成しているが、各スタッフそれぞれがモニタ リングをできるまでには至っていない現状であ る。	全スタッフが介護計画を理解し、介護計画を 意識したケアを提供することができる。 その上で、全スタッフがモニタリングを実施す ることができるようになり、ケアに活かせるよ うにする。	介護計画書の理解、モニタリングの手法を共有 できるよう、勉強会を実施し、実際にモニタリ ングができるよう、指導する。	12ヶ月
2	34	緊急時の対応として、看護師がいないこともあ り、判断や対応に不安がある。	緊急時、迅速な対応を、日々、意識した対応 ができるよう、対応マニュアルの作成、知識 の向上を図る。	緊急時対応マニュアルの作成、緊急時の持ち 出し資料の作成、整備を事前しておく。そうす ることで、緊急時に落ち着いた対応ができるよ うにし、救急隊、医療機関、家族との連携がス ムーズにできるようにする。	12ヶ月
3	2	地域交流スペース(多目的室、カラオケ室)を地 域住民、児童に開放し、利用していただくこと で、施設側との関係性を築き、入居者の方々の ふれあいにつなげていく。	地域の小中学校との優良な関係性を築き、 地域交流スペースを活用していただくこと で、地域住民の方々の憩いの場、そして、認 知症高齢者との関わりをもてる機会を作る。	地域の小中学校に出向き、施設としての取り組 みを伝え、児童に利用していただけるようする。 また、地域住民の理解、協力を得ることで、地 域密着型施設として、実践していく。	12ヶ月
4	14	他施設との交流を定例会として実施している が、定例会も二年目を迎えるので、交流の幅を 広げていく必要がある。	他施設とのネットワーク作りを進めていくこと で、職員同士の交流、ケアの質の向上、お困 りの方に対する支援の共有を図る。	定例会の定着化、施設間の交流、情報の共有 をはかることで、お互いの施設の課題や質の向 上を図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。